児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 3月 10日

事業所名 こどもデイサービス はるの木

		チェック項目	はい	どちらともいえ ない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適 切である	100%	0%	0%	戸外活動を実施し、子どもたちが しっかり身体を動かす事が出来るよ うに工夫している	
	2	職員の配置数は適切である	80%	20%	0%	基準を上回る職員配置し、きめ細やかな 療育を心がける	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された 環境になっているか。また、障がいの特性に応 じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報 伝達等への配慮が適切になされている	80%	20%	0%	スロープの設置	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっているか。また、子ども達の活動に合わせ た空間となっている	80%	20%	0%	日々掃除、消毒をを行い、清潔を保っている。	癇癪が起きた際などに一人になれる分かりやす い空間があればよい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	0%	全職員が共通理解をし、振り返りを 行い、次への療育につなげるように している	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して 事業所の評価を実施するとともに、保護者等の 意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%	保護者からの評価を基に、職員間で 改善に努めている	
		事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の 結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うと ともに、その結果による支援の質の評価及び改 善の内容を、事業所の会報やホームページ等で 公開している	100%	0%	0%	ホームページにて公開を行っている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげている	40%	20%	40%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保している	80%	20%	0%	外部研修参加者が伝達講習をし、内 部研修に勤める	より学びたいと意欲ある為、外部への研修を計画していく
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発 達支援計画を作成している	100%	0%	0%	職員で保護者のニーズもふまえ話し合い児童発達支援計画を作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標 準化されたアセスメントツールを使用している	80%	20%	0%	児童部会での共通アセスメントを使用	独自のアセスメントシートを新しく作成してい る
適切な	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の 「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家 族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子 どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そ の上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%		
支援	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	その日の利用者に合わせて何が良い活動 なのかを考えている。	
の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	83%	0%	0%	周囲からの意見をもらうようにしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成して いる 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その	80%	20%	0%		
	17	日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%	朝の会で意見を出し合うようにしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有している	100%	0%	0%	全利用者の当日の行動や課題を全職員が 共通理解し、同じ目標をもって療育出来 るようにしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者 が参画している	100%	0%	0%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関 係機関と連携した支援を行っている	80%	20%	0%	必要な連携を行っている	新たなつながりもつくっていけたらよい。

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の 関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	0%	保護者・相談事業所等の連携を実施	
	24	関係機関と連携した又振を打っている (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を 整えている	100%	0%	0%	相談事業所との密な連携	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援 内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	0%	連携会議等を実施	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	80%	20%	0%	連携会議等を実施	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業 所、発達障害者支援センター等の専門機関と連 携し、助言や研修を受けている	80%	20%	0%	児童支援部会等での研修に参加して いる	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会がある	60%	20%	20%	コロナ禍で機会は減っているができ る範囲での参加を行っている	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ど も・子育て会議等へ積極的に参加している	80%	20%	0%	リモート会議などで実施	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っている	100%	0%	0%	連絡帳への記入や送迎時に伝達を 行っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対して家族支援プログラム(ペアレント・ト レーニング等)の支援を行っている	60%	40%	0%	良い関わりや良い変化があった際に 保護者へ伝えるようにしている。	ご家族が相談しやすいような関係性を引き続き つくっていきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を 行っている	80%	20%	0%	契約時に説明を行っている。	
保護	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を 示しながら支援内容の説明を行い、保護者から 児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	0%		
		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80%	20%	0%	職員同士も連携し、情報を共有して 同じ思いで対応している	
者への	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	20%	0%	80%	コロナ禍でできてはいないが、今後 定期的に計画をする	
説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速 かつ適切に対応している	100%	0%	0%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し て発信している	100%	0%	0%	連絡ノートや写真などで様子を伝え ている	ホームページの開設をしました。
		個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	0%		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	0%		
	4()	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開 かれた事業運営を図っている	20%	60%	20%		今後地域の民生委員さん等にも声掛けを行う予 定
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に 周知するとともに、発生を想定した訓練を実施 している	100%	0%	0%		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	年に2回の実施を行っています	
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこ どもの状況を確認している	100%	0%	0%	職員同士での確認し、漏れのないように留意している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	80%	20%	0%	保護者への確認は行っている	医師の指示書までは作成していない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 している	100%	0%	0%	作成、回覧、共有を行っている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	研修へは参加している。研修に参加 できていない職員に対しても、資料 の回覧を行っている。	施設内でも研修が行えるように計画していく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	0%	必要な場合、支援計画に記載したうえで 保護者へ説明し同意をいただいている。	